

平成 31 年 2 月 15 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 31 年 2 月 15 日 (金曜日)

午前 10 時 50 分から午前 11 時 30 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲 委 員 鷲尾 達雄 委 員 羽賀 友信
委 員 青柳 由美子 委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	金澤 俊道	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	遠藤 雄一
学務課長	佐藤 正高	学校教育課長	小池 隆宏
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之
学校教育課主幹兼管理指導主事	丸山 巧	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長補佐	佐藤 陽子	子ども家庭課長	大矢 芳彦
保育課長	田辺 亮	青少年育成課長	斎藤 裕子

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	安達 紀子	教育総務課庶務係長	佐藤 裕
教育総務課庶務係	内藤 貴幸		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第4号	長岡市立学校通学区域規則の一部改正について
3	第5号	条例改正の申し出について（長岡市保育園条例の一部改正）
4	第6号	条例改正の申し出について（長岡市立へき地保育園条例の一部改正）
5	第7号	条例改正の申し出について （長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正）
6	第8号	補正予算の要求について

7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会2月定例会を開会する。

◇日程第1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

◇日程第2 議案第4号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について

(高橋教育長) 日程第2 議案第4号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正についてを議題とする。事務局の説明を求める。

(佐藤学務課長) 改正理由は、中之島南部地区に、新しく北中之島、中之島中央、南中之島という町名ができたことに伴い、改正するものである。これらの場所はす

べて田んぼで、実質的な通学区域の変更はない。施行期日は2月下旬を予定している。

(高橋教育長) 質疑、意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第3 議案第5号 条例改正の申し出について（長岡市保育園条例の一部改正）

(高橋教育長) 議案第5号 条例改正の申し出について（長岡市保育園条例の一部改正）を議題とする。

(田辺保育課長) 改正の内容は、第2条の表から長岡市立宮内保育園、長岡市立黒条保育園、長岡市立六日市保育園及び長岡市立西川口保育園の項を削るものである。改正理由は、2つある。1つ目は、平成30年度末をもって六日市保育園及び西川口保育園を閉園するためであり、2つ目は、平成32年4月1日に宮内保育園及び黒条保育園を民営化するためである。1つ目の理由について説明する。六日市保育園の今年度の園児数は9名だが来年度は3名になる見込みであり、西川口保育園においては今年度は10名だが、来年度は5名になる見込みであることから、昨年夏頃より、集団保育の観点等から保護者と協議を行ってきた結果、来年度から他の園へ転園をし、今年度をもってこの2園を閉園することに保護者から了解を得たものである。次に、2つ目の理由について説明する。平成32年4月1日に宮内保育園は学校法人北陸学園に、黒条保育園は社会福祉法人王神福祉会に移管する。来年度1年間をかけて、移管先法人の職員から園に来てもらい、保育の引継ぎを行うが、その引継ぎ保育の前に民間に移管することを正式決定するため、移管1年前に条例改正を行うものである。施行期日は、六日市保育園と西川口保育園は平成31年4月1日とし、宮内保育園と黒条保育園は平成32年4月1日とする。

(高橋教育長) 質疑、意見はあるか。

(高橋教育長) 集団保育になじむ規模ではなくなっているということについての保護者の理解はどうであったか。

(田辺保育課長) 保護者からは、もっと子どもの多い園に預けたい、という意見や、入園したこの園で、園児数が少なくなっても卒園までは預かってほしい、という両方の意見があった。保護者との協議の中で、少人数保育には良いところもあるが、大人数でないとできない遊びや体験などについて話し合い、最終的には保護者全員から転園することに関して了解を得ることができた。

(高橋教育長) 民営化に移管する2園について、移管先の法人は、既に長岡で運営実績があり、長岡の保育を良く理解した上で、市に代わり園を運営している。長岡市ではこのような形で民営化を進めていることをご理解いただきたい。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第4 議案第6号 条例改正の申し出について(長岡市立へき地保育園条例の一部改正)

(高橋教育長) 議案第6号 条例改正の申し出について(長岡市立へき地保育園条例の一部改正) を議題とする。

(田辺保育課長) この改正は、王子川保育園が平成30年度末をもって閉園することに伴い、条例第2条の表から長岡市立王寺川保育園の項を削るものである。王子川保育園は今年度の園児数が4人であり、全員5歳児である。保護者とは、平成29年度中から園児数の減少により平成30年度末をもって閉園とすることについて協議をしており、了解を得ている。施行期日は、平成31年4月1日である。

(高橋教育長) 質疑、意見はあるか。

(高橋教育長) 公立の保育園なので、保護者が送迎などを行うと思うが、この王寺川地域に一番近い保育園に定員の余裕はあるのか。

(田辺保育課長) 王寺川地域周辺の園に定員の余裕はある。その点を確認した上で

保護者と話し合いを行った。王寺川地区に住んでいる4歳児以下の子どもは、現在、他の園に通園している。保護者との協議の中で、通園が不便になるので閉園しないで欲しい、という意見はないため、通園での支障はないと考える。

(鷺尾委員) 厚生労働省が定める集団保育の下限人数を下回った際に、長岡市として保護者などに対し、どのようなアプローチを行っているのか。

(高橋教育長) 住民票などからどの地域に何歳の子どもが何人いるのかわかるため、将来の入園数の予想をたてることができる。それをもとに、未来を見据えて保護者と話し合いを重ねていく。

(田辺保育課長) 急だと驚かれるため、早い段階から協議を行う。閉園という結論に向けた話し合いを行うのではなく、園児数の減少についての保護者の意見を伺うなど意見交換を重ね、保護者や地域の方々のご了承を得たうえで、閉園や統合を行うという順を経ている。現在、在園児数が20人を下回っている園については、これから声かけを行っていく。

(高橋教育長) 集団保育の下限が20人であることへの考え方は、20人を下回ったから保育園として機能しない、というわけではなく、子どもたちにとって20人くらいの人数が集団として育つには適している、ということである。地域性もあるので、20人というのはあくまで目安である。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第5 議案第7号 条例改正の申し出について(長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)

(高橋教育長) 議案第7号 条例改正の申し出について(長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正) を議題とする。

(斎藤青少年育成課長) この改正は、放課後児童支援員の資格者規定について改正を行うものである。学校教育法の改正により、平成31年4月1日から専門職業人

の要請を目的とする新たな高等教育機関として、「専門職大学」と「専門職短期大学」の制度が設けられた。これにより、学校教育法による大学は「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」になる。それぞれの学校を卒業することで学士と短期大学士という資格が与えられるが、専門職大学については、前期・後期に課程を区分することができることとされ、その前期課程の修了者は、短期大学卒業者と同じ短期大学士相当の学位が授与される。これに伴い、専門職大学の前期課程修了者についても放課後児童支援員の基礎資格を有する者として対象に追加するために、この条例の改正を行う。改正内容は、条例第9条第3項第5号中「卒業した者」の次に「(当該学科又は当該課程を修めて同法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)」を加える。施行期日は、平成31年4月1日である。

(高橋教育長) 質疑、意見はあるか。

(鷲尾委員) 卒業はせずに、前期課程のみ修了しているという公的な証明書はあるのか。

(斎藤青少年育成課長) 専門職大学は平成31年4月1日から始まる制度であるが、前期課程が修了した時点で、短期大学卒業者と同等の短期大学士という学士を得られ、過程を修了したという証明がもらえると聞いている。ただし、平成31年4月1日から専門職大学として認可される大学は少ない状況である。

(高橋教育長) 今回の改正は、放課後児童支援員の資格者規定について、対象の資格の追加であるが、そもそも支援員はどのような資格を有する者なのか、説明してほしい。

(斎藤青少年育成課長) 保育士や社会福祉士の資格を有する者、高校卒業後放課後児童支援員など2年以上現場での経験を有する者、学校教育法の規定により社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学などの課程を修めて卒業した者、大学院を修了した者が対象である。また、5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって市長が適当と認めた者も該当となる。

(高橋教育長) 資格としては幅広い印象であるが、現場では支援員がなかなか見つかりにくいという状況もあり、そういう意味ではこのように有資格者として認められる資格が増えることは良いことだと思う。今回追加される資格に該当する人はなかなかいないと思うが、アンテナを張って、できるだけ支援員を確保してほしい。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第6 議案第8号 補正予算の要求について

(高橋教育長) 議案第8号 補正予算の要求について を議題とする。

(曾根教育総務課長) 今年度の決算見込みが出たため、3月議会において人件費関係の予算整理を行う。総額約2億2,000万円の減額補正である。これには大きく分けて2つの要素があり、1つが、当初予算で提示したものの執行残が見込まれる約2億4,000万円の減額整理と、もう1つが、給与改定に伴う約1,800万円の増額要素である。減額整理については、当初見込んでいた正規職員の時間外勤務手当などの執行残や、保育士・調理員・管理員などの臨時職員分の人件費が予算の見込を下回ったことによる執行残である。

(遠藤教育施設課長) 教育施設課の補正についても3月議会において補正整理を行う。越路小学校大規模改造事業と西中学校校舎増築・大規模改造事業について、事業費の整理を行う。歳出は総額約7,600万円の減額補正である。

(田辺保育課長) 保育課についても、歳入、歳出において減額補正を行う。平成30年度中にみのり幼稚園が園舎の一部改築を予定していたが、法人より、事業費を精査したうえで今年度については一旦事業を取り止め、平成32年度以降に実施したい、と申し出があった。そのため、歳入である施設の整備に要する国からの補助金や、歳出である園に支出する補助金について補正を行う。また、平成30年度に予定していた事業を平成31年度に繰り越す、繰越明許費について説明する。ひごし中央保育園と蔵王保育園の2園において、平成30年度中に園舎の改築を予定していたが、鉄骨部材の調達が遅れ、工事の完成が来年度になることが判明した。このため、この事業を平成31年度への繰越事業（繰越明許設定）とする。

(高橋教育長) 質疑、意見はあるか。

(鷲尾委員) 役所の予算は、必ず年度中に使い切らなければいけないという話を聞

いたことがある。定例的に支出されているもので予算が余ると、翌年の予算を減らされるということはあるのだろうか。

(高橋教育長) 今はそのようなことはない。長岡市では、年度途中で補正予算を組む財源が必要になるため、3か月ごとに予算執行の計画をたて、その執行状況を財政セクションに報告し、市全体の財政状況を把握している。そして、財政セクションが12月頃に、執行残があったものは凍結するよう通知を出す。執行残があるということは、既にその予算の目的を達成しているということになる。その目的の事業以外に執行残を使う場合は、補正予算を組まないと執行できない。このような流れがあるため、事務局で余った予算を学校で使いたいと思っても、自由には使えない。

(曾根教育総務課長) 3月補正予算のタイミングと当初予算のタイミングはほぼ同時である。このタイミングで、当初予算の不要額を対外的に出すので、当然来年度の当初予算は、その減らしたものと比較されることを意識しなければならない。減額補正との整合性を意識して、来年度の予算を編成している。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議は終了した。

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、平成31年度長岡市教育委員会当初予算の概要について事務局の説明を求める。

(金澤教育部長) 平成31年度の当初予算について、この度内示があったため報告する。教育委員会の平成31年度当初予算総額の内示額は、292億3,103万8千円である。昨年度の当初予算額と比較すると、4,130万1千円の減額である。その主な理由は、保育の無償化や認定こども園以降に伴う関係経費の増や、小中学校で継続している大規模改造工事の契約年割額の増、国の補正があったため小中学校での

冷房設備の経費を前倒しし、平成 30 年度に補正予算に計上したことによる減、出生数の減少に伴う各事業費の減、青少年文化センターの廃止に伴う管理運営費の減、埋蔵文化財センター（仮称）の整備工事終了、東京フィルオーケストラによる夢づくり事業の終了、ポニー事業廃止に伴う減、などである。個々の事業の内示額については、記載のとおりである。各事業の目的、概要については、12 月定例会にて説明したため、今回は省略する。なお、一覧表にある概要欄の赤字及び見え消しの部分が、予算要求額からの査定により変更する部分である。また、保育課の事業において予算要求額よりも多い内示額となっている事業は、幼児教育や保育無償化に伴う精査により増加したものである。このほか、事業名、事業目的についても、表現の微修正をしている。次に、平成 31 年度新規事業等の予算状況について説明する。一覧の事業番号 1 から 15 の事業については、11 月定例会にて説明したとおりである。追加された 16 から 19 の事業については、教育振興基本計画に掲げる事業で新たに追加となった事業で、これについては 12 月定例会にて説明したとおりである。全体では、新規の事業についての要求額 35 億 7,321 万 7 千円のうち、およそ 93%の 33 億 933 万円の内示額であった。ほぼ要求どおりの事業がある一方で、ゼロ査定となった事業もあった。これらについては、事業の内容や必要性を再検討し、長岡市の財政状況を考慮しながら平成 32 年度以降の予算編成に向けて検討していきたいと考える。なお、この予算案は 3 月 1 日に召集される長岡市議会 3 月定例会に諮られることになる。

（高橋教育長） 質疑、意見はないか。

（高橋教育長） 新年度になり、事業を実施する段階では基本的に予算ベースで行うが、工夫をしながらより効率的でより効果的な形で事業を実施していくことが大事だと考える。市全体の経費が削減されているなかでも、新規事業が認められた反面、長年継続している事業については、成果がある程度出たとして廃止となった事業もある。単年度ごとに事業を見るのではなく、10 年や 20 年など長い期間においてどういった事業が子どもたちにとって効果的であるのか、成長に意味があるのかを見ていきたいと考える。教育委員会としては、個別に廃止になった事業を残念に思うのではなく、事業全体を上手く組み合わせながら、効果が出るように実施していきたいと考える。

(高橋教育長) 次に、豊田地区の保育需要増加への対応策実施法人の決定について事務局の説明を求める。

(田辺保育課長) 1月定例会にて説明したとおり、豊田地区において大規模な宅地造成により子どもの数が増え、保育需要が増加していることに対応するため、新築か既存の施設の増改築による保育受け皿の確保の提案を求めていた。そして、2月6日にプロポーザルを実施した結果、実施法人が決定したので報告する。評価者は、外部委員の3名と行政関係2名の計5名の選定委員である。提案は社会福祉法人みどり社会福祉協会と、学校法人長生学園の2法人からあり、みどり社会福祉協会の提案内容は、新たな園舎の新築であった。一方長生学園の提案は、既存の明幸幼稚園の増改築であった。明幸幼稚園は老朽化により平成32年度の改築を予定していたが、それを平成31年度に前倒しし、それに併せて増築も行い定員を増加するというものであった。プロポーザルの結果、地域のニーズを的確に分析し社会貢献への情熱が感じられる提案がなされている、地域の将来的な展望を踏まえ、綿密に練られた計画となっているなど、みどり社会福祉協会が委員5人全員から高い評価を得たため、同法人に決定したいと考える。今後は、2月中旬に選定結果を市ホームページで公表し、平成31年6月から平成32年3月に園舎建設工事を行い、平成32年度に開園となる。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 以上で、協議報告事項を終了する。

(高橋教育長) 次に、催し案内について補足説明のある者は挙手願う。

(山田中央図書館長) 3月24日に中央図書館にて、文化講座「村上春樹の世界へようこそ～人と作品～」を開催する。長岡工業高等専門学校の堀口真利子准教授を講師に迎え、作家であり翻訳家である村上春樹の作品を紐解きながら、その世界観を紹介し、人気の秘密について考える。この講演は、以前十日町市でも実施し、大変好評であった。図書館100周年記念事業として歴史の講座が多かったので、今回このような少し異なった趣旨の講座を企画した。ぜひたくさんの方にお越しいただきたい。また、栃尾美術館においても木工講座や作品展を開催しているので、こち

らにもぜひ足を運んでいただきたい。

(佐藤科学博物館長補佐) 2月14日から3月10日まで科学博物館企画展示室において、長岡藩主牧野家ゆかりのおひなさま展を開催する。昨日から展示しており、展示室が大変華やいだ雰囲気となっている。ぜひお立ち寄りいただきたい。2月20日からは、アオーレ長岡でも展示する。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員